

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																									
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		自社でミッションステートメントを策定し、朝礼時に店舗で唱和している。全社員にビジネスノート、クレドの配布し、あるべき姿を明確化している。社長自ら経営方針の勉強会を実施している。								8	9													17				
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		自社で「コンプライアンス宣言」を発信しコンプラ10ヶ条を策定、掲示している。毎月1回「宣言」の唱和、チェックを実施し啓発を行っている。																						16				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		CSR基本方針を制定している。方針内に不正競争行為を含む行動規範を定め、周知している。HPにも掲載している。											10											16				
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響を把握し対応する担当者、責任者を任命している。																							16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産権を認識し、商標権、肖像権の取り扱いを把握している。本部担当部署で指導、勉強会を実施している。								8.2 8.3	9														16			
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護推進委員会を組織している。コンプラチェックを実施し情報漏洩防止を徹底している。漏洩事故に対する具体的な対応策をとっている。毎月1回コンプラWSを実施し、遵守意識向上を図っている。																							16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		お客様アンケートの声を共有し、業務改善に反映させている。お客様の声をまとめたアンケートボードを設置し、各市町村とつながりを持ち、お困り事を把握し、課題解決に取り組んでいる。																						16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10		12	13	14	15	16	17								
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11		13.1									16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9														17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2					5							8			12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則内に防止を定め、研修会を実施。「ハラスメントは許しません」宣言を全店舗掲示し、防止体制を整備し、相談窓口も設置している。					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5						8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全衛生委員会を設置している。年に1度の健康診断実施、メンタルヘルス(心の健康)不調を防止策としてストレスチェック制度を活用、実施。全社員へ「UTグループ健康便り」を発行し啓発活動をしている。				3									8.8													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金ガイドラインを理解し、正規と非正規の不合理な格差なく、適切な処遇にて運用している。							5.5								8.5									10.2 10.3		
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		DX導入や業務効率化による残業時間の低減、定時マナー設定、有給休暇の取得促進を実施しており、家事、育児、ボランティア、趣味等への時間確保の環境を整えている。					3		5.5								8.5 8.8									10.3		
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		外部講師による役職別・部門別の研修会や社内講師による勉強会(カレッジ研修)を実施し、学びの機会の醸成に取り組んでいる。							4	5.5								8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		健康経営推進体制を設定し健康経営宣言を実施。日赤熊本健康管理センターと連携し、より良い職場環境づくりを目指す。特定保健指導受診率の向上を目指している。健康経営優良法人(中小企業法人部門)認定を取得している。								3								8								17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		差別的待遇はなく、多様な人材(女性・障がい者・高齢者)の雇用も積極的に行っている。							4.4 5.5	5.1 5.5							8.5									10.2 10.3	16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		テレワーク、ウェブ会議を実施している。感染症対策を定め、リスクレベルに応じた社員行動指針を設定している。									3							8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		DXの推進、各種オンライン化やソフトウェア開発を手掛けた人々の生活をより良いものに変革する。注文書の電子署名や電子帳票を推進している。																8	9.1								11	12
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●			プライト企業に認定されている。																									

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		飯金塗装工場では、年に2回の作業環境測定を実施している。また、産業医による職場巡視で特定化学物質、有機溶剤の管理状況を把握し、有害化学物質の削減に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電気やガスの使用量を把握している。社用車をHV車へ随時切替。全社の電気使用量を抑えるためLED照明へ随時切替。エアコンのデマンド値を抑える装置を導入している。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		トヨタ自動車推奨の温室効果ガス排出量算出ツールを用いてCO2排出量を算出、把握している。社用車をHV車へ随時切替し、HV車販売の推進している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		従業員に対して周知・教育をした上で、廃プラやレジ袋などの使用低減に取り組んでいる。海岸を中心に清掃活動を実施し、海洋ごみの削減に取り組んでいる。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		アンケート用紙を紙からWEB化するなどのペーパーレス化を実施している。古紙と機密情報を分別し、分別場所の更なる細分化にも取り組んでいる。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		「火の国」「水の国」熊本の貴重な水資源を守る為、節水に取り組んでいる。油水分離槽を設置し適切な処理をしている。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		車の修理の際、リサイクル部品を使用している。エコに配慮した製品の購入を実施している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		店舗では屋上や車展示スペースの緑化を実施し、壁面は木材使用をしている。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		トヨタソーシャルフェスにて海岸を中心に清掃活動に参加している。くまモン県プロジェクトに積極的に参加している。														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		トヨタ自動車のマイルートアプリを導入し、公共交通機関での移動を促進している。社用車をHV車へ随時入替している。										9.4			11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		ハイブリッド車・電気自動車・水素自動車(MIRAI)を積極的に販売・使用することで、温室効果ガス排出を抑制し、CO2の削減に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.2

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		販売した車をメンテナンスする体制を充実させ、車の瑕疵による事故を未然に防ぐ取組を実施している。また、相談窓口を設置しお客様の声を聞きサービスに反映させている。			3.9								9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		障害者専用の駐車場やトイレを設置している。店舗改築ではバリアフリーを考慮した設計となっている。											9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	店舗リニューアルの際は、木材を積極的に使用し、木質化に取り組んでいる。							7						12.2	13.1			15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域自治体と連携し、地域の活動に積極的に参画している。地域が抱える課題を把握し、その課題解決に協力している。活動として善意通帳にてボランティア活動の費用に充てている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災・減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		熊本地震の教訓を活かし、災害時の防災備蓄を常備している。災害対策マニュアルを策定している。				4								11.5		13.1			16			
	45	【防災・減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	災害時の電力供給に役立つという観点で、HV車(給電機能搭載)の販売を促進している。											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	SDGsの普及啓発の為、エコアクション21の活動で全従業員が環境に取り組む重要性を理解し、CO2排出削減に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	学生のインターンシップを積極的に受け入れている。イベント企画(キッズエンジニア等)で仕事の楽しさを伝えることに取り組んでいる。				4						8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4						8.5 8.6										17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。